

運 営 方 針

「知の拠点あいち」において、大学の研究シーズを企業の事業化・製品化につなげる産学行政の共同研究プロジェクトを推進するとともに、「あいちシンクロトン光センター」と連携し、高度で汎用的な計測分析機器による分析・評価、多種多様な工作装置による試作品の作製・評価により、企業の研究開発、製品化を支援し、付加価値の高いモノづくりに貢献します。

また、地域企業の技術的な総合支援機関として、技術相談、依頼分析、研究開発、技術人材育成などの取組により、モノづくり産業の技術課題の解決策を提供し、愛知を支えている中小企業を支援します。

事 業 計 画

1. 産学行政の連携の推進

「知の拠点あいち」の中核施設として、大学等の研究成果を企業の事業化・製品化へと橋渡しする産・学・行政連携による共同研究開発の一翼を担うとともに、企業・大学と連携して先端技術開発のための共同研究に取り組み、人的交流と情報交換を積極的に進め、モノづくり技術の創造・発信を図ります。また、高度計測分析機器を活用し、産学行政共同研究プロジェクトの活用に資するとともに、愛知県下のモノづくり中小企業の技術開発、製品開発を支援します。

(1) 産学行政の連携による共同研究開発の推進

- ①重点研究プロジェクト事業の推進・支援
- ②高度な計測分析機器の活用

(2) 地域相互利用システム連絡会議の開催

地域の大学・公的研究機関等の連携により、計測分析機器に関する情報提供システムー研究開発での最適な計測分析機器を保有・活用できる大学等の情報提供者を継続的かつ円滑に運営するための連絡会議を開催します。

(3) 県内各大学との連携の推進

大学の持つ技術シーズ、当センターが持つ分析評価技術等を始めとするシーズと連携することにより、地域企業の持つ技術的課題解決を支援します。

2. 研究開発の推進

中小企業の抱える技術的課題解決のための研究に加え、新たに地域において重点的に取り組む戦略的振興分野に関する研究を行います。次の二つに分類されます。

(1) 特別課題研究

産業界の要請に対応して取り組む共同研究や応用研究です。また、地域において新産業・新技術を創出し、経済の活性化を図るため、地域における産学行政の共同研究体制（コンソーシアム）を組み、国等へ提案応募して実施する、高度な実用化研究も含まれます。

(2) 経常研究

各産業分野の技術支援のため、当面する課題に取り組む研究です。当センターの技術指導の高度化や技術シーズとなる研究です。